

# 636 まつり通信

発行 まつり同好会 創刊1961年  
<http://www.wa.commufa.jp/matsuri>  
 振替00830-6-673 年会費5,000円

3月号 令和7年3月1日発行



鹿島の祭頭祭 3月9日 茨城県鹿嶋市宮中

撮影 昭和47年3月10日 須藤 功

Saitousai Festival March 9th Kashima city, Ibaraki Pref.

photo by Isao SUTO taken on March 10, 1972

## Contents

Saitousai Festival	Kashima city, Ibaraki Pref.
.....	Isao SUTO 1
Taasob (rice planting ritual) in Fujimori (Yaizu City)	
.....	Isao SUTO 2
Circle dance of the Nansei Islands No.13	
Angama in Sakishima Islands, Okinawa Pref.	
.....	Kaname SAKAMOTO 4
Information and others	7
Festivals in April and May	8

▽会員へのお知らせ	6
▽「まつり通信」の発行を年四回に変更します	
□津島天王祭り見学会の参加者募集	
▽受贈資料紹介	
▽各種情報	
▽4月のまつり、5月のまつり	7
.....	6
.....	7
.....	8

## 主要記事目次

## 表紙写真の言葉

### 鹿島の祭頭祭

茨城県鹿嶋市宮中

開基が二千数百年前と云われる鹿島神宮は、軍神武甕槌大神を祀るので、昔から武運長久の神宮として崇拜してきた。

その氏子集落は元は六十六あつたが今は五十二、その集落を南郷と北郷に分けて、一年交代で両郷の一集落が当番となり、神宮の祭事に参加して奉仕する。

三月九日の祭頭祭では、南北を左方大頭、右方大頭として、色あざやかな祭衣に鉢巻きをして、長さ二メートルほどの樅棒を持つた子どもたちも一緒に集まり、まず神宮の祭式に参列する。

午後一時、肩車にした甲冑姿の新発意と呼ぶ子どもを先頭に、大提燈、鹿島神宮と書いた旗、各種のまといなどで行列を組んで町を練り歩き、ところどころで樅棒高く組んでは解くを繰り返す。いかに神宮の祭りらしい。

（須藤功）

歌いながら樅棒を組んで、氏子の健康と併せて豊作を祈る。

祭頭歌の一節で、こうした歌を

いやーホエ 鹿島の豊竹ト  
ホヨトヤ イヤヘトホヨトヤ  
アーヤレソラ御社楽 目出度  
いやーホエ

